

地図と測量のコンテンツにふれてみよう！
「地理院地図を使ってみよう」編 第5回 ～過去の災害を学ぼう～



ケンタ君

博士、過去に起こった自然災害について調べたいんだけど、
なにかいい方法はないかな？

そんなときは「自然災害伝承碑」を見てみたらどうか。
地理院地図から見ることができるんじゃないよ。



マップ博士

自然災害伝承碑って、どんなものなの？

過去に起きた津波、洪水、火山災害、土砂災害等の自然災害の
情報を伝える石碑・モニュメントのことじゃな。
2019年に地図記号が誕生したんじゃ。

災害から学んだ教訓を、未来に
伝えてくれるんだね。

こちらのページでも紹介しているぞ。



地図記号「自然災害伝承碑」

- ・広報誌>ことばのミニ辞典～近代測量 150 年特別編④「自然災害伝承碑」～
- ・地図・空中写真・地理調査>主題図(地理調査)>自然災害伝承碑



そうしたら、実際に地理院
地図で見てみようよ。
まずは、全国にどれくらい
あるのか見てみたいな。



そうじゃな。
地理院地図を開いたら
①画面左上のアイコン[地図]
②[災害伝承・避難場所]
③[自然災害伝承碑]
④調べたい分類を選択
そして少しズームすると…

①



③

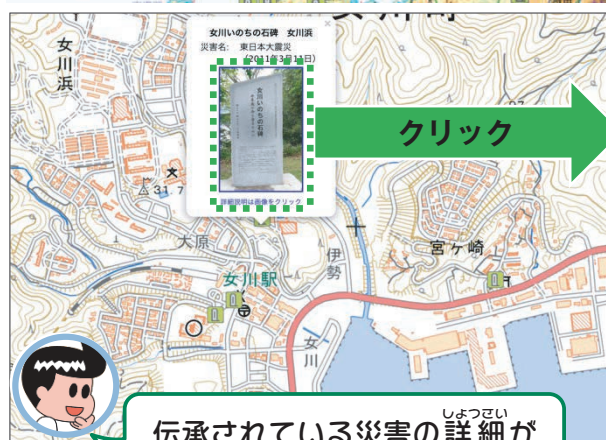


②



④





女川いのちの石碑 女川浜

概要	
碑名	女川いのちの石碑 女川浜
災害名	東日本大震災 (2011年3月11日)
災害種別	地震・津波
建立年	2013
所在地	宮城県牡鹿郡女川町女川浜大原469-1 (女川中学校校舎前)

「夢だけは壊せなかった大震災」東日本大震災(2011)では女川町を高さ14.8m(浸水高18.5m、遡上高34.7m)の大津波が襲った。この女川いのちの石碑は、震災直後に女川第一中学校(現在の女川中学校)に30歳以上の生徒ら

災害履歴情報

土地の成り立ち

組み合わせ

自然災害伝承碑

地形分類

右図のイメージのように、前回の「地形分類」と組み合わせれば、さらに理解が深まるはずじゃ！

今回の内容は、動画でも紹介しているぞ。

04 過去の災害から学ぶ(自然災害伝承碑)

去の災害から学ぶ

自然災害伝承碑！

地理院地図を使ってみよう

先人たちが遺してくれた教訓を地理院地図で確認する方法をご紹介します。

明治26年大洪水供養塔

明治26(1893)年10月、台風襲来により高梁川や小田川の堤防が決壊した。この大洪水による死者は2百余名と伝えられており、供養塔の頭部は当時の水位となるよう建立された。

源福寺境内:岡山県倉敷市真備町

写真提供:中国地方整備局岡山河川事務所

旧河道(浸水・液状化のリスク)

高梁川

小田川

氾濫平野(浸水・液状化のリスク)

赤枠:平成30年7月豪雨に伴う推定浸水範囲

組み合わせイメージ

- [地理院地図ヘルプ](#) > [使い方動画一覧](#) > [過去の災害から学ぶ](#)